

2024年5月25日 八ヶ岳 赤岳

メンバー L谷内・伊藤・小嶋・森田（記録）

もうすぐ夏が来る。沢登りが始まるシーズンでもあり、そのために体力・脚力をつける訓練山行ということで赤岳を南沢・文三郎尾根ルートで目指しました。

朝5時30分。すでに美濃戸駐車場は残4～5台。こんなに登山者が入っているとは驚き。さすが、好天が続いているこの週末。梅雨入り前に登りたいという気持ちなのでしょう。苔むす森の中を進むと、薄紫とピンクの間ぐらいの色をしたホテイランがロープで囲われ保護されていました。まだ陽が当たっていないので花の開きは少ないが、写真を撮らずにはいられない。下を向いているので撮る角度が難しい。ついつい前へ足を踏み出したくなるから、このロープ。箱入り娘達は大切に守られておりました。箱じゃないけれど。葉の様子も特徴的。お花に詳しい谷内さんに解説をいただき、帰り道にまた撮ることにして、先へ進む。

行者小屋前は、テント泊のパーティーで賑わっていました。学生の山岳部かな？

朝日を浴びた赤岳、大同心・小同心、阿弥陀岳を仰ぐ。カッコいい。

分岐からいよいよマムート階段で一気に登ります。階段は足を大きくあげなくてはならないので、これがきつい。

ほどなくして。あれ？私、なんだか頭が重くなってきた？ もしや、これは……〇〇病？？頭を上げ、上を見ると気分が悪くなってしまうので、足元をひたすら見ながら登りました。

階段を登り切ったところで休憩。止まっていると少し肌寒くなるが、思いのほか風はない。阿弥陀岳が近い。わずかな残雪の白と山肌の茶色、緑色のコントラストがくっきりと。そしてキレット分岐から岩場に差し掛かる頃は気持ち悪かった。歩行は問題なく鎖と梯子もクリア。

山頂は大人気で人が多く、写真を撮るのに皆さん順番待ちしていました。



抜けるような青空の下、中央・南アルプス・富士山・北アルプス見渡す中で昼休憩。好天の山頂にはいつまでもいたくなります。

そして地蔵尾根から下山。この頃には気持ち悪さは消えていました。目の前に横岳。このままあっちまで縦走したいなあ。などと思っていたら、後ろから降りてきた女子パーティー3人が必死の形相で横岳方面へ向かって行きました。大丈夫か。

下山もまた鎖あり、階段あり、ゴロゴロ石あり。膝にきます～。

そして再びホテイランの所まで戻り、今度はロープなしの場所で姿を拝むことができました。14時駐車場戻り。

今回の個人的な反省点は「登山前日はちゃんと寝よう！」です。

好天に恵まれた360度ビューの赤岳に登れたのは本当に良かった！

